

『芦屋市立美術博物館運営基本方針』に関する意見等

平成26年度第2回（平成27年3月26日開催）

- ① 『運営基本方針』にある「芦屋の貴重な文化遺産」について、具体的には何を指しているか？もう少しはっきり示した方がいいのではないか。
- ② 『運営基本方針』には、芦屋らしさを具体的に表現すべき。
- ③ 「具体」はすばらしい財産で、もっと広めたいということが『運営基本方針』の中では読み取ることができない。

平成27年度第1回（平成27年12月18日開催）

- ① 『運営基本方針』には、新しい美術や新しい歴史を蓄積するとか、上手く蓄積し続けていくということが、使命・目的としてもう少し必要。

平成27年度第2回（平成28年2月22日開催）

- ① 画一的に書いてあって、そのまま他市でも通用する総花的で、無個性なものになっており芦屋というものがまったく感じられない。
- ② 使命と目的がいくつもあるのはおかしい。
- ③ 新たな課題が書かれていない。
- ④ 『運営基本方針』をやり直してみてもどうか。
- ⑤ 使命・目的は、もう少しシンプルなフレーズ、例えば「市民と共に生きる」というような単純なフレーズであったら、議論が発展していくのではないか。
- ⑥ 使命と目的は、もっとシンプルで良い。
- ⑦ 『運営基本方針』に書いてあることがたくさんありすぎて、これを全部まとめてやったら身体も金ももたない。一つのポイントに絞って、それでアピールすべき。